

坂出市中小企業・小規模企業振興会議 具体的施策案

ステージ	基本方針1 企業が主体的に活躍できる環境	基本方針2 ひととまちを健幸にする事業展開	基本方針3 プレイヤーが発展し循環する持続的な地域
ステージ0	<p><u>(1-1) 企業の課題意識の向上</u></p> <p>・経営者に対する教育啓発(既・発展) 外部アドバイザー等を活用した、事例集、チラシ、コラムの発信</p> <p>既に取り組んでいる企業ならびに先進的な企業の取り組みを主題にしたセミナー、勉強会の開催</p>	<p><u>(2-1) ヘルスケア産業に対する理解、興味関心の向上</u></p> <p>・医療機関等の関係機関との関係性構築(新) 医療機関や介護福祉施設、行政関係部署と意見交換を行い、スムーズに連絡を行える関係性を構築する</p>	<p><u>(3-1) 起業家マインドの育成</u></p> <p>・若者に対する起業家マインドの育成(新) 地域の企業や人気起業家を招き、若者に対して、ワークショップやビジネスコンテストを実施する 自身のやりたいことを見つめ直し、地域で起業する火種をつくる</p>
	<p>・社内における実態把握の促進(新) 就労環境に関するアンケートの実施支援 実施企業に対する優遇措置等</p>	<p>・市民に対する健幸のまちのPR強化(既・発展) 医療機関等、市内事業者、行政関係部署と連携し、健幸のまちのPRを強化する(サービス、商品の体験等)</p>	
	<p><u>(1-2) 企業の健康経営の促進</u></p> <p>・健康経営を推進する都市としての姿勢表明(新) 健康経営推進都市等の表明を行い、市全体として健康経営に取り組むことにより、健幸に働ける地域としてのブランディングを行う(保育等を含めた市全体の課題解決)</p>		
ステージ1	<p><u>(1-2) 企業の健康経営の促進</u></p> <p>・健康経営に対する興味、関心の向上促進(新) 外部アドバイザー等を活用した、事例集、チラシ、コラムの配信</p> <p>既に取り組んでいる企業ならびに先進的な企業の取り組みを主題にしたセミナー、勉強会の開催 専門家(健康経営アドバイザー等)によるワークショップの開催</p>	<p><u>(2-1) ヘルスケア産業に対する理解、興味関心の向上</u></p> <p>・ヘルスケアビジネス創出コンソーシアム(協議体)の設置(新) 医療機関、介護福祉施設、教育機関等の様々な主体が参加する協議体を設置する。協議内容は以下を予定している (1) 市内企業および市民のヘルスケアビジネスに対する興味、関心の向上 (2) 医療現場等と市内企業のマッチングの推進 (3) 市内で創出されたヘルスケアビジネスのPR推進</p>	<p><u>(3-2) 起業・事業承継しやすい地域に向けた調査、整備</u></p> <p>・起業環境に向けたニーズ調査(新) 本市における起業環境の整備について、既存施設の活用も含めて、起業家や関係企業へのヒアリング等を通して調査する</p>
	<p>・健康経営の実施に関する支援(新) 健康経営の知識、手法をいつでも学べる環境の整備(Eラーニング、マニュアル等) ※既存の仕組みや制作物の見直しは必要 アドバイザー、保健師等の専門家利用の促進 健康経営優良法人認定企業に対する優遇措置(入札審査での加点、奨励金等)</p>	<p>・ヘルスケアビジネス創出のためのセミナー、ワークショップ等の開催(新) 市内企業に対して、先進的な企業、専門家(医療関係者、大学関係者)による講演を実施する セミナー、ワークショップを通じた関係企業と市内事業者とのマッチング</p>	<p>・スモールスタートができる環境の整備(新) スモールスタートができる環境(シェアオフィス、チャレンジショップ、シェアキッチン)の整備を、既存施設の活用を踏まえて検討し、新規事業や起業の際にテストができる環境を整える</p>
	<p>・データヘルス、ヘルステック活用の促進(新)</p>		<p>・空き店舗情報サイトの開設(新) 市内の空き店舗情報を取りまとめた情報サイトを開設することにより、起業地の検索を容易にし、起業を促す</p>
	<p><u>(1-3) 魅力的で持続性の高い稼げる企業の育成</u></p> <p>・各支援機関の役割を明確にした伴走支援(既・発展) 各支援機関が行政をハブとして定期的に情報共有を行い、各企業の課題に対して、スムーズに必要な支援を提供し、収益性の向上を図る (例) Saka-Biz→売上向上に向けたアイデアの提案 坂出商工会議所→事業計画等の作成支援 金融機関→融資の実行支援</p>		<p>・起業、事業承継に関する資金調達支援(新) 事業性や地域に対する波及効果が高い起業や事業承継を審査によって選考し、限られた事業に対して資金的な支援を行う ※ヘルスケア分野の課題を解決する事業の含む</p>
	<p>・事例の共有、発信(既・発展) 外部アドバイザー等を活用し、市内事業者の事例を事業者側および支援者側の両面から取りまとめて、市内事業者および支援機関に対して、発信する</p>		<p>・起業に関するスキルアップ(既・発展) 起業希望者に対して、起業に関する知識をいつでも学べる環境を整備する(Eラーニング、マニュアル等) ※既存の仕組みや制作物の見直しは必要 地域内の支援機関の連携による事業計画、資金計画等のブラッシュアップ</p>
	<p>・災害等変化への対応、準備(既・発展) 自然災害や感染症の流行などの変化に対応できるように、BCPの策定を促進する 策定したBCPの実効性を確認するための、実証訓練等を促進する</p>		<p>・事業承継の活性化(既・発展) 支援機関の連携によるマッチングの活性化推進 情報発信の工夫による事業の見える化を推進</p>
	<p>・従業員の育成、スキルアップの推進(新) 各企業が社会の変化に対応するために、従業員の育成、スキルアップを図るしくみを設定する</p>		

ステージ 2	<p>(1-4) 新規雇用のためのノウハウ、スキルの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層へのアプローチの検討（新） 学生と事業者の双方に気づきがあるインターンシップの実施を産官学が連携して検討する →インタビューシップを参考に SDGs等の企業の社会的意義を強みとした募集方法の検討 基本的な採用に関する知識がいつでも学習できる環境の整備 (Eラーニング、マニュアル等) ※既存の仕組みや制作物の見直しは必要 ・都市人材、副業人材の活用促進（新） 活用事例や効果を学ぶことができる勉強会、セミナー等の開催 求人媒体への掲載費用軽減、試験的な導入の促進 ・女性、高齢者、外国人の雇用促進（新） 空いた時間でも働けるシステムの構築 (メーリングリスト等) 企業と高度外国人材のマッチング支援 	<p>(2-1) ヘルスケア産業に対する理解、興味関心の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民および医療機関等に対するニーズ調査（新） 市民に対し、エリア、年齢性別等に分類したヘルスケア分野に対する地域課題を抽出するための調査を実施する 医療機関等の従事者に対し、現場における課題を抽出するため、調査を実施する ・市内企業と医療機関等のマッチング促進（新） 希望する市内企業と医療機関等がマッチングする機会を提供し、現場の課題やニーズに応じた商品、サービスの開発を促進する 	<p>(3-3) 起業・事業承継しやすい地域としてのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内外に対するPRの促進（新） 地域内の起業事例を発表する、セミナー、ワークショップ等の開催 域外の移住、転職希望書をターゲットとした、PR手法の検討 	
		<p>(2-2) 市民生活に基づいた事業展開の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活における課題の調査（新） 庁内関係課へのヒアリング、市民に対するアンケート調査等を通して、事業のシーズになりうる市民生活における地域課題を抽出する 	<p>(3-4) 起業後の地域への定着支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の収益化支援（既・発展） 関係機関の連携による伴走的支援 ・既存企業とのマッチング（新） 既存企業との交流会等を開催し、地域に入る機会を提供する ・起業希望者、プレイヤー同士の交流（新） 起業希望者やプレイヤーが集まる機会を提供し、交流を行うことによって、モチベーションの向上とマッチングによる事業の大規模化を促す ・雇用、採用に関するバックアップ（既・発展） 	
	ステージ 3		<p>(2-3) 小規模な社会実装とフィードバックの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題に対する実証実験の促進（新） 抽出したニーズを解決する事業を実証実験の形式で募集し、実施を支援する ・リビングラボの設置、運営（新） エリアごとに分析したヘルスケア分野における課題を基に、課題を解決する事業を市民、企業、行政が共創するリビングラボを特定エリアからスタートさせる ・実施した事業に対するフィードバックの徹底（新） 上記の事業に対し、専門家による結果のフィードバックを徹底し、より持続的な事業への成長を促す 	